

23 明倫短期大学歯科衛生士学科における iPad使用状況とデジタル教材活用の現状

木口友美, 平澤明美

明倫短期大学 歯科衛生士学科

keywords : 歯科衛生士学科, iPad, デジタル教材

はじめに

スマートデバイスの保有者が近年増加している。本学歯科衛生士学科では文部科学省の私立大学等教育研究活性化設備事業に採択され、1学年にiPadAirを、2学年にiPadAir2（以下iPad）を平成28年4月より1人1台貸与し、講義・実習を行っている。また、デジタル教材の配信を段階的にいき、基礎実習のデモンストレーションや講義用資料などの配信による、教育の効率化と学生の満足度向上を目指してきた。今回は、学生のiPad使用状況とデジタル教材の活用状況について調査し、今後の課題について検討した。

対象および方法

対象：本学歯科衛生士学科2年女子37名

方法：平成27年4月から28年6月までの1年2ヶ月間のデジタル教材の使用状況について、無記名一部自記式・多項目選択式質問紙法で行った。また、平成28年10月から11月の臨地・臨床実習1ローテーション（6週間）のiPad使用状況についてWebアンケートを実施した。

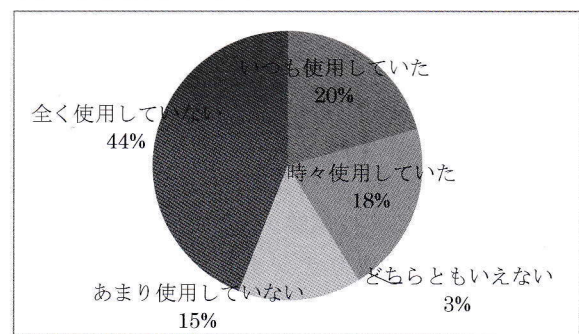
結果および考察

基礎実習におけるデジタル教材の活用で十分役に立ったと答えた学生が57%、少しは役に立ったが38%、どちらとも言えないが5%であった。最も役に立った授業では、歯周病予防処置実習で68%となった。基礎実習は、反復練習する必要がある、なおかつ、自分が出来ない実技の動画をその場で確認しながら進めていけることや、細かい動かし方を見ながら基礎実習に取り組むことが出来るためと考えられる。講義では、歯科器械が65%で最も多く、実物画像をPDF化したデジタル教材を講義時に使用、配信することで、カラー画像で確認でき、わかりやすかったためと思われる。今後、希望するデジタル

教材として、診療補助実習における保存修復などが多く挙げられた。

iPad配布前の1年次ではiPhoneでデジタル教材を見ている学生が60%と最も多く、iPad配布後の2年次では、iPadと回答した学生が92%であった。1年次で使用していた端末に比べ、iPadは画面のサイズが大きいことや、容量が確保できることからiPadを使用している学生が多かったものと思われる。

臨地・臨床実習中（月～木曜日）のiPad使用状況は図に示す通りである。



使用理由としては、附属歯科診療所実習で行っている歯科予防処置実習の術式確認や歯科保健指導実習の媒体作成と練習、デジタル教材の閲覧等が挙げられた。また、臨地・臨床実習中のiPadは80%の学生が必要と回答した。これは、実習先や自己学習で使用するためと思われる。平成26年度生と27年度生の歯科器械実技試験成績を比較すると、第1回実技試験、第2回実技試験共に、有意な差がみられた。

まとめ

デジタル教材は実技試験対策において有効に活用されていた。歯科診療補助実習や歯科予防処置実習などの、学生が希望するものや、臨地・臨床実習に活用できるデジタルコンテンツを作成し、アクティブ・ラーニングにつなげていくことが重要である。